日刊建設通信新聞（2025 年 6 月 2 日付　3 面掲載）

【オリコンサル　金山川氾濫を 3D 動画に　防災意識高め避難行動推進】

オリコンサル

金山川氾濫を3D動画に

防災意識高め避難行動推進

オリエンタルコンサルタンツは、北九州市内を流れる金山川の氾濫を想定した3Dシミュレーション動画を制作した。大雨などによる浸水被害の状況を分かりやすく可視化したもので、市民の防災意識向上と避難行動の促進が目的。動画は、同市の公式ユーチューブチャンネルで公開中だ。

動画は、北九州市が進める事前防災の一環として2024年度に発注した「金山川浸水想定動画作成業務」に基づく。

対象は、金山川上流の洪水浸水想定区域。シミュレーションでは、氾濫による水の広がりを時系列で再現し、住宅地や道路、施設が水没していく様子を立体的に表現している。視覚的な分かりやすさを重視し、市民が自身の住まいや身近なエリアで災害が発生した場合を具体的にイメージできる内容を目指した。

動画の制作に当たっては、国土交通省が進める3D都市モデル整備プロジェクト「PLATEAU（プラトー）」を活用し、建物や地形などのオープンデータを取得した。

動画は、市民向けの防災教育ツールとして活用する予定だ。視聴者の関心や目的に応じて「フルスペック版」と「要約版」の2種類を選択してもらう。

同市では「公助」に加え、市民の「自助」の力を高める取り組みを進めており、今回の動画もその一環。今後は子ども向けの防災動画の制作なども予定している。

浸水想定動画